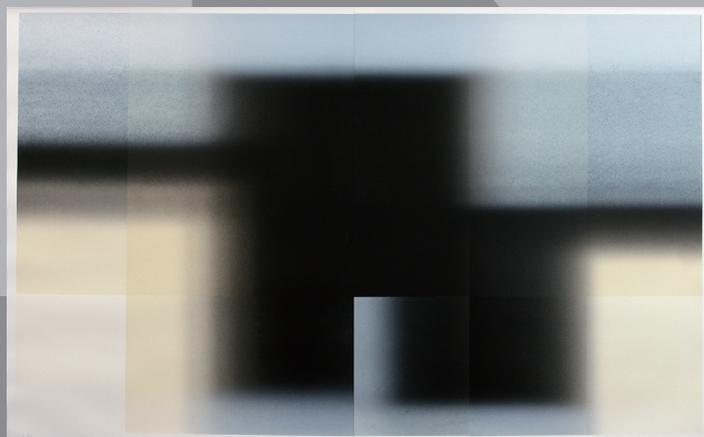


三つの版表現展

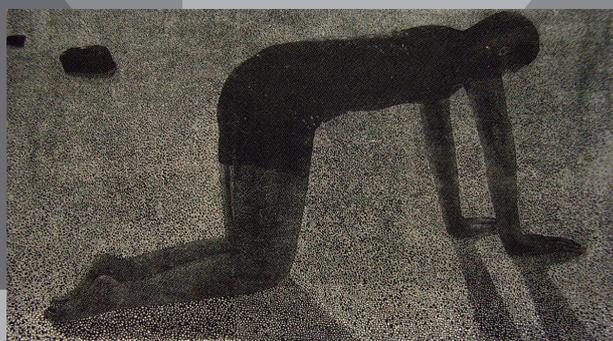
沼津市山口源新人賞の歩み



『採録』久野 龍之介(第42回 山口源新人賞)



『F.U.K 93-1』種田 瑞樹(第11回 山口源新人賞)



『起床』遠藤 美香(第26回 山口源新人賞)

2026年4月7日(火) - 4月23日(木)

開館時間 | 10:00 - 17:00 * 入館は16:30まで

休館日 | 4月13日、20日

* 月曜日(祝日の場合は火曜日)、国民の祝日の翌日(土日祝日はのぞく)、年末年始(12月29日-1月3日)、展示替えの期間

入館料 | 大人 200円 小中学生 100円 * 市内の小中学生無料

* 20名以上の団体は2割引 * 障害者手帳をお持ちの方は、ご本人と同伴者1名が無料

主催 | 沼津市庄司美術館(モンミュゼ沼津)

沼津市庄司美術館
NUMAZU SYOJI MUSEUM OF ART

mon musee

三つの版表現展

沼津市山口源新人賞の歩み

2026年4月7日(火) — 4月23日(木)



「Falla Nana!」柿崎 兆(第2回 山口源新人賞)



「REM sheep」櫻井 萌香(第35回 山口源新人賞)



「テーブルの残りあるか? 今日のトップで使うぞ」
鈴木 隆太(第24回 山口源新人賞)

三つの版表現から見る新人賞

沼津市山口源新人賞は、1983年の創設以来、若手版画家の優れた表現を顕彰してきました。山口源の名を冠した本賞は、版画という分野における新たな才能の発掘と育成を目的としています。

本展では、歴代受賞作品の中から「木版画」「銅版画」「シルクスクリーン」という三つの技法に焦点を当てて紹介します。

同じ技法を用いていても、作品の表現は作家ごとに大きく異なります。素材の扱い、線の質、色の重なり、構成の取り方——そこにはそれぞれの時代背景や作家の視点が反映されています。

版画は、同じ版から複数を生み出す技法です。しかし、その表現は決して均一ではありません。本展では三つの技法を通して、新人賞が育ててきた版画表現の多様性をご覧ください。

それぞれの技法

〔木版画〕

木の板を彫り、インクをのせて刷る技法。木目や彫り跡が画面に現れ、素材の力強さが表れます。

〔銅版画〕

金属板を腐食させて線を刻む技法。繊細な線や深い黒が特徴で、緊張感のある表現が可能です。

〔シルクスクリーン〕

版を通して色を重ねる技法。明快な色面や構成の鮮やかさが際立ちます。

美術館を観覧する場合、特に申し込みや予約等の必要はありません。展覧会の情報やイベント、その他について詳しくは沼津市庄司美術館(モンミューゼ沼津)公式WEBサイトをご覧ください。お気軽にお問合せください。

アクセス

電車の場合 | 「JR沼津駅」下車。駅南口からバスもしくはタクシーでお越しください。

バスの場合 | 沼津駅南口「ローソン」前9番のりばから乗車、「市道(いちみち)」で下車。手前の川沿いを歩くと、「ふれあい沼津ホスピタル」が見えてきます。その向かい側、橋を渡ってすぐの3階建ての建物です。

お車の場合 | 東名沼津ICより約20分です。駐車場8台駐車可能。

*バス1台駐車可能(事前にご連絡ください)

*車椅子・エレベーター有り

沼津市庄司美術館
NUMAZU SYOJI MUSEUM OF ART

〒410-0863 静岡県沼津市本字下一丁田900-1
TEL 055-952-8711
https://www.monmuse.jp



公式WEBサイト

